

有田川町議会広報
かわら版

平成22年1月発行

第16号

発行 有田川町議会
住所 郵便番号 643-0021
和歌山県有田郡有田川町
大字下津野2018番地4
電話 0737-52-2111
FAX 0737-52-2198
<http://www.town.ariogawa.lg.jp/profile/gkaicho.html>



もくじ

平成21年度補正予算など.....	2～ 3
町長に問う(一般質問項目).....	4
議員より一言.....	5～ 15
編集後記.....	16

新型インフルエンザ対策予防接種に 3,075万円

◎平成21年度一般会計補正予算の主な歳出 一般会計

(単位：千円)

項目	補正前の金額	補正額	補正後の金額	内 容
議 会 費	131,488	0	131,488	
総 務 費	2,381,343	49,916	2,431,259	全庁庁舎一部撤去工事費など
民 生 費	3,372,293	20,789	3,393,082	社会福祉費、児童福祉費など
衛 生 費	1,235,932	36,424	1,272,356	新型インフルエンザ予防接種助成金など
労 務 費	10		10	
農林水産費	1,860,231	21,747	1,881,978	林道新設改良費など
商 工 費	145,637	50	145,687	備品購入費
土 木 費	1,174,084	26,983	1,201,067	道路新設改良費など
消 防 費	703,495	2,084	705,579	災害対策費など
教 育 費	1,677,909	10,316	1,688,225	文化財改修費補助金、体育施設費など
災害復旧費	84,811	△6,166	78,645	農地・林業用施設災害復旧費
公 債 費	3,088,952		3,088,952	
請 支 出 金	237,136	10,148	247,284	公共施設整備基金積立金
予 備 費	27,400	1,580	28,980	
歳 出 合 計	16,120,721	173,871	16,294,592	

◎特別会計補正予算の主な歳出 特別会計

(単位：千円)

項目	補正前の金額	補正額	補正後の金額	内 容
老人保健事業	49,566	△16,533	33,033	医療給付費、高額医療費など
介護保険事業	2,353,245	19,011	2,372,256	居宅介護住宅改修費負担金、高額医療 療合介護サービス費負担金など
簡易水道事業	616,387	6,184	622,571	簡易水道事業消費税、簡易水道施設 整備事業など
公共下水道事業	887,271	△21,018	866,253	下水道事業債

平成21年第4回定例会は11月9日から30日までの日程で開催されました。本定例会には平成21年度補正予算、条例の制定、工事請負契約などの28件の議案を審議し、すべて原案の通り可決

されました。なお第3回定例会で特別委員会に付託されていましたが、平成20年度一般会計・特別会計の決算認定は、すべて認定されました。



◎使用料の徴収に関する条例の一部を改正
◎職員の給与に関する条例の一部を改正
◎職員の勤務時間、休暇などに関する条例の一部を改正



建設中の鉄道交流館

◎条例の制定・改正
◎鉄道交流館の設置及び管理に関する条例の制定

工事請負契約

○藤並駅西口周辺整備工事
約7151万円



JR藤並駅西口の改修現場

○第三保育所建築工事
1億4952万円



第三保育所建設はじまる

財産の取得

- 消防防災施設用地の取得
約4471万円
- 紀州松集成材製・書架購入(学校図書用)
約1297万円
- 地上デジタル放送対応テレビ購入(学校施設)
約828万円
- 小学校用理科設備等購入
約1292万円
- 中学校用理科設備等購入
約872万円

財産の取得の変更

- 超短波無線電話装置購入
- 地上デジタル放送対応テレビ購入(吉備地区)
- 地上デジタル放送対応テレビ購入(金屋・清水地区)

町営土地改良事業

- (団体管理盤整備事業の施行)
- 熊井地区
事業費8320万円

道路線の認定

○町道1005号線
(野田地内)

○平成18年度公共下水道根幹的施設の建設工事委託に関する基本協定の変更
当初14億7000万円
変更後12億5850万円

訴訟の提起

(社会体育施設) 農民広場の土地所有権移転登記などの請求

○和歌山県市町村職員退職手当事務組合規約の一部変更

○和歌山県市町村非常勤職員公務災害補償組合の解散

○和歌山県市町村非常勤職員公務災害補償組合の解散に伴う財産処分

○和歌山県市町村議会議員等公務災害補償組合の解散

○和歌山県市町村議会議員等公務災害補償組合の解散に伴う財産処分

請願・要望

・食料自給率の向上と国内農林漁業の振興をはかるための施策を求める請願

提出者：食糧と健康を守り日本農業再建をすすめる和歌山県民会議

代表者：児玉 文平

付託先：産業建設常任委員会

結果：継続審査

・非正規職員の処遇、委託(請負)業務、雇用対策に関する要望書

提出者：和歌山県地方労働組合

評議会

・農民広場についての要望書

結果：配布のみ

・重度心身障害者(児)医療費助成事業見直しにおいて、患者負担増にならないようお願いする要望書

提出者：特定非営利活動法人和歌山県腎友会

代表者：理事長 竹内 拓

支部長 鈴木 康子

結果：配布のみ

4年間をふりかえって

第4回定例議会で7人の議員が質問しました。毎回、質問内容を掲載し、みなさまからご好評をいただいておりますが、今回は、編集期間が短かったため掲載できませんでした。質問項目だけお知らせします。ご了承下さい。

なお、そのかわりとして、「4年間をふりかえって」と題して、原稿を提出いただいた議員の記事を紹介します。

町長に問う 一般質問

	質問議員氏名	質問事項		質問議員氏名	質問事項
1	森本 明	1. 財政問題について 2. 機構改革について 3. 児童の体力について	4	殿井 堯	1. 政権交代が行われて、今後、有田川町としての進行方向について 2. 今後、公共事業に対する町の取り組みについて
2	佐々木裕哲	1. 4年間の町づくり構想の経過はどうか	5	尾上 武男	1. 風力発電に伴う低音公害について 2. 給食センター化について
3	前勢 利夫	1. 農林業再生への挑戦を続けるために 2. 道路整備問題について 3. 棚田サミットを成功させるための方策 4. 過疎地域自立促進特別措置法の期限切れと新立法対応を問う 5. 合併特例法に基づく財源確保問題 6. 教育関係	6	堀江真智子	1. 図書館・図書室について 2. 保育制度について
			7	増谷 豊	1. 有田川町河川整備基本計画等について 2. 庁舎問題について

議員より一言

議席順に掲載

4年間の 議会活動を 振り返ってみて



尾上 武男

平成18年2月に、町民みなさま方のご支持、ご支援をいただき、当選させていただき議員としてお仕事をすることができました。

この4年間にふり返りますと、町民みなさま方より頂いた要望をふまえ、一般質問や議会活動

をしてまいりました。私は一般質問のなかで特に児童生徒の通学路の安全対策及び、あの思まわしい28年水害を思い浮かべ、有田川の災害対策を重点的に質問をしてまいりました。しかし、その他の要望に対して、充分かなえられたかどうか、自分なりに反省をしてみますと十分とは言えませんでした。わが有田川町は、旧3町が合併し、町村では県下一広い面積をもちました。わが町の隅々まで知ることができなかったことが心残りであります。

わが有田川町が有田一、県下一として、今後発展することを願い、町民みなさま方とともに、一町民として頑張っていま

たいと思っています。最後に4年間、ご支持ご支援をいただきましたことを心よりお礼申し上げます。

町民のみなさんに 教えていた いた4年間



増谷 憲

私は、旧金屋町議時代の代から含めて21年間議員活動をさせていただきま

した。

そしてこの間一回も休まず毎回質問を続け、のべ84回になりました。

私の活動の中心にあるのは、町民の声(特に若者定住対策や地域経済の活性化)を取り上げてどのように町政へ反映させることができるかということですが、

もうひとつは、議会のあり方、町民に開かれた議会、活性化した議会にすることでした。

特に、合併後の4年間は、旧町に比べて面積・人口で約3倍になり、議員が44人から26人へと減り、議員の活動もよけいに見えなくなってくるだけに、果たさなければならぬ役割が今まで以上に大きいと感じています。

また、合併で決めた事業の精査と進み具合、合併前に先送りした事項や合併時に廃止した事業への対応に取り組んでき

ました。

更に、各地域へ足を運んで町民のみなさんと懇談させていただいたり、教育委員会の定例会や旧町の地域審議会を傍聴して議会活動に役立てるようにはしました。

議会での取り組み姿勢は、議案に対しては、町民のためにならないことには反対し、また少しでもよくなることには他の議員と一緒に取り組んできました。

そしていろいろな課題には、できるだけ提案する立場で望んできました。町民の声、生活の実態から学ぶ姿勢を忘れてはならないと思います。



女性の声を とどけて



堀江眞智子

町民のみなさんのお力でこの4年間、毎議会ごとにみなさんの声を一般質問として町行政に届けられたことに、感謝申し上げます。

私は、女性の目線で子育てのことや教育環境の整備、ゴミ問題などに取り組んできました。すべてのことができたというわけではありませんが、日常生活の中で感じられている声や問題点が届けられたのではないかと思います。

これからも、町政や議

会での活動のことなどを「議会だより」や「広報」で知っていただくとともに、町民のみなさんが日常生活の中で感じておられることを町政に気軽に届けられる、開かれた町づくりができることを望んでいます。特に、女性の町政への参加を期待しています。

議会では、女性はまだまだ少数です。そのような中でも女性の声を届けられたのは、男性議員のご理解やご協力があつたからだと感じています。私がさまざまな活動に取り組んでこれたのは、生活相談やPTA活動、ボランティア活動や趣味の活動などに関わらせていただき、多くの方々とお話できています。今後も、地域が必要とされる人間になれるように、さらに自分を磨いていきたいと思っています。

今後とも、子育てがしやすく暮らしやすい有田川町をつくるために、私なりに努力していきたいと思っています。



考える ところ



東 武史

平成18年に3町が合併して、県下で面積が2番目に大きい有田川町が発足した。

合併しての賛否両論が

あるが、私は合併したメリットは議員や職員数の減少による経費の削減と各町の事業を異なる観点から議論できた所と財政規模が大きくなり、取り組める事業規模が拡大されたことだと思う。反対に行政規模が広範囲で、職員の削減による住民サービス低下や大規模事業に取り組むことによる事業のかたよりはデメリットである。同様に、今進められている行財政のスリム化は、経費の削減とは裏腹に地域を衰退させる要素を持っている。いずれにせよ、事業の両側面から今何が必要で、町財政面ではどうなのかというバランスを考えていかななくてはならない。

今後、旧町エリアにとらわれず、長期・中期・短期的計画で投資効果を踏まえて優先順位をつけ、国・県政の状況も鑑みながら慎重に事業を実行し

ていかななくてはならない。また、町行政と議会は両輪で議会は行政のチェック機関であるが、事業計画の時点から、もう少し議会と協議を重ねる時間が必要だと思う。ことさら大きい事業についてはそうあるべきだと思う。それと行政組織のスリム化は必須である。殊に職員の連携や情報共有はさらに推し進めていくべきだと思う。また環境税の導入などさまざまな分野で、地方が国や県とついでいかに重要な役割を担っているか訴えていくとともに、さらに地方のあり方を議員自らが方向づける議員立法の活用すべき時期がきている。



更なる町の 繁栄を 期待して



細東 正明

謹んで新春のお慶びを申し上げます。町民みなさまには平素より過分のご指導、ご鞭撻を賜り誠にありがとうございます。さて、有田川町が誕生して4年が経過いたしました。遠う町が一つになることで、特に山間へき地においては、行政の目が行き届きにくくなるのではないかと、合併当初は多くのおみなさんが不安視されておりましたが、各旧町の特徴を生かした均衡ある町づくりを推進し、現在では有田川町一

つの意識が、徐々に浸透していったのではないかと感じております。

しかし、山間地では抱える問題が山積しており、急速に進む過疎化の流れを食い止められない現状にあります。基盤整備の立ち遅れている山間地では、産業振興や若者の雇用面に対して、絶対的な不利を被り、その解決が最重要課題であります。

有田川町を見渡せば、吉備地域の大型事業が顕著に見受けられることから、山間地の方々から不満の声が出ていることも事実であります。町の発展は過疎地を含め、地域全体が活力溢れる住みよい町になるのが根幹であるため、今後も更なる山間地への事業展開を期待するところであります。

この度、引退させていただくことになりました。次期執行部はじめ議会のみなさんのご活躍と、更なる町繁栄をお祈りし、町民みなさまからお受けしたご恩に心より感謝申し上げます、私のごあいさつとさせていただきます。

4年間を 振り返り 思うこと



岡 省吾

明けましておめでとございます。町民みなさまにおかれましては、健やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、有田川町が発足して早いもので4年が経過いたしました。この間、町民みなさまから数々のご指導、また温かい励ましの声をお掛けいただきました。心より厚く感謝申し上げます。

今、この4年間を振り返りますと、私自身の感想ながら、あつという間に過ぎ去るほど非常に凝縮された短い期間であったと感じております。議会においては、議会運営委員長、また産業建設常任委員会副委員長という大役を拝命し、執行部のみなさんや先輩議員さんのご協力を賜りながらまがりなりにも務めさせていただき、私にとりまして非常に貴重な経験となりました。私にこのような重職をお与えいただけましたのもこれひとえに日頃、お支えいただいているみなさま方のおかげと感謝

しております。

町政においては、財政の厳しい折、山積する問題が多い中、均衡ある町の発展のため微力ながら頑張っております。今や国政では政権が交代され、旧態とは大きく様変わりしようとする転換期にありますが、わがふるさと有田川町の今後ますますの発展を願うものであります。

まだまだ若輩の私ですが、今後とも変わらぬご指導、ご鞭撻を賜りますよう切にお願い申し上げます。結びにみなさまのご多幸、ご健勝を衷心よりお祈りし、誠に簡単ながら私のごあいさつとさせていただきます。



まちづくり 自ら研鑽を



前勢 利夫

草稿に際し改めて昨年3月17日一般質問中にご逝去されました、林道種議員の御霊に謹みて哀悼を申し上げます。

平成18年2月6日、第1回有田川町議会議員選挙に当選の栄をお与え下さいました。町民みなさま、有難うございました。以来19年度には今後の町づくりの基本指針としての、有田川町長期総合計画（10ヶ年間）「有田川町がつなく、人と自然、山とまち、交流が未来をつむぐ。きらめき、ひろ

がる有田川町」が作成され、諸々の内外の諸状況を背景に、県下9市21町村計30市町村の中、6番目に大きい予算を計上、着実に合併計画予想を上回る町づくりが進行しつつあることは、主権者、町民のお力添えご支援の賜ものであります。しかしながら、昨年10月に発生しました百年に一度といわれる大不況の下で、国・地方共々がかつてない厳しさを体験しており、第一次産業（農林業）が基幹を成している当町にとつては、公共事業の減少とともに総ての分野に大きな痛手となっております。

更に8月30日の政変は、60余年に及んだ政権と変わり新政権が誕生し、今後の国政の行方は果たしてどちらに向き、どうなつてゆくのか目を離せません。有田川町行政機関と議決機関としての議会は

は住民の負託に自治法に基づき、自治の本旨により、いかに対応し地方分権を行使、安心安全の町づくりをするためには、何よりも研鑽を自らが深め、一つひとつの事象を的確に分析、これにもとづきともに力を合わせ、事に立ち向かう以外にないものと信じます。一期目終了の粗辞と致します。有難うございます。

今後も ゆるがぬ 努力を



湊 正剛

有田川町のみなさま

けましておめでとうございます。いつも町行政についてご指導、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。さて合併してから早4年の歳月が過ぎようとしています。

当初より総務文教常任委員会に属し有田川町内の保育所や小学校17校、中学校6校を二度にわたる視察を行い、各学校長のご意見を伺ってまいりました。また、合併以前より建築中であつた田殿小学校の体育館、プール、新校舎の完成を基に、藤並保育所や小川小学校のプール完成、更に金屋中学校、八幡中学校の耐震補強の大規模改築も立派に完成して、それに続いて今改築中である御霊小学校のプール、また白馬中学校舎の全面耐震補強改築や金屋第三保育所も着工予定となっております。これも一重に地域住民、地区役員の大熱意と

町当局の決意、それに予算の獲得に対して各関係担当課の努力、そして有田川町議会の全議員による議決により完成の運びとなっておりますのであります。

自然豊かな有田川町で安心安全充実した教育の場をフルに活用していただき、次世代を担う生徒のみなさんに寄せる期待は大であり成功を願うものであります。

また農林漁業については地球温暖化による異常気象による鳥獣や病害虫の被害は年々増加の一途を辿っており、その上、不況によって価格の低迷など生産者と自治体が一本化になり可能な限りの英知を結集すればクリアできると確信しています。行政は止まることなく揺るがぬ努力と限りなき前進のみであり、今後活かしていく所存です。

4年間の
議員活動を
振り返り



佐々木裕哲

合併して早4年、みなさま方の思いも色々あると思いますが、合併して良かったと言える町づくりに議員の一人として真剣に取り組んでまいりました。私は、何時も「住民の代表である議員とは何か」を基本に町政のチェックとみなさま方の代表者として、みなさまの声を行政に反映できるように今まで16回の議会において毎回質問をし、33事項を質問させて頂きました。(議員1人平均7回)中でも

- 開かれた町政を目指してご意見箱の設置を。
- 農林業の振興と観光対策は。
- 地上デジタル放送の今後の対策は。
- 資源ゴミなどの収集運搬業務の入札は。
- 古備インター、藤並駅をなぜ改名するのか。
- 藤並駅特急利用者へ無料駐車場を。
- わが町の財政の先行きは。
- 町職員の出勤状態について。
- 町財政の自主財源を増やすための対策は。
- 新型インフルエンザ対策について
- 有田川の雑木、堆積土対策は。
- 選挙公約、町づくり構想四年間の実績は。
- などの質問は印象深いものがありました。また議会においては、住民福祉常任委員会委員長、決算審査特別委員会委員長、

議会広報編集特別委員会、下水道事業対策特別委員会、風力発電設置特別委員会、和歌山県後期高齢者医療広域連合議会議員などを担当、活動させて頂きました。今後ともみなさま方のお声を行政に生かせるようご意見をお聞かせください。



今後も
町発展の
ために



森本 明

新年あけましておめで

とうございます。平成18年1月1日に3町が合併し有田川町が誕生し、2月の町議会議員選挙で、みなさまの温もりをいただき議席を与えていただきながら、早いもので4年目が終わろうとしています。その間の議員活動について、少しお話ししたいと思います。

安心安全の住みよい町を建設すべく、毎議会一般質問をさせて頂きました。自主財源の乏しい本町にとって財政の健全化は喫緊の課題であり、何度かお尋ねしました。ハード面では鏡石トンネル早期着工、市場バイパス、岩野河バイパス、金屋庁舎建設及び周辺整備。本格的な排水路建設等の住環境整備、ソフト面においては、教育の問題、就労対策、環境問題、住民福祉施策の充実等々を提言してまいりました。本年は政権交代がなされ、

大きく政治がかわり、無駄を排除するための事業仕分けなどが実施され、わが町の予算にも、計り知れない影響が考えられますが、そのことを注意深く見極め、私はこれからも、有田川町の発展のために、心血を注いでまいりますので、ご支援の程よろしくお願いいたします。

最後になりましたが、新年にあたり町民各位のますますのご発展とご健勝をご祈念申し上げご挨拶いたします。



町民のための 政治をめざし た4年間



殿井 堯

新年あけましておめでとうございます。町民のみなさま方にお支えいただき、有田川町の議員としての4年間が経過しようとしています。この間町の厳しい財政状況を踏まえ、行政改革と意識改革の早急な取り組みと、町の主産業である林業とみかん産業の促進を訴えてまいりました。また不透明な工事契約を指摘し、すべての業者が平等に競争ができる制度の充実と、地場産業の育成のためには地元の仕事は地元の業

者へと、発言させて頂きました。

合併して4年目の有田川町ですが、財政状況は大変厳しい状況にさらされながら進められていきます。そして本当の財政難は、あと数年後に現れてくるのではないかと危惧いたします。交付金を使いながら事業を進めていきますが、その後の返済は大変厳しくなります。

健全な町運営のためには、今まで慢性的に行われてきたさまざまな事業を根本から見直し、徹底した行政の無駄を洗い出さなければなりません。また中学校の耐震工事業や過疎地対策、高齢化対策などの緊急を要する事業については、優先順位を考慮しながら推進していくかなければなりません。そのためには住民からの意見をもとに、議会と執行部が丸となって取り組んでいく必要があります。

す。

若者が希望をもって暮らせる町づくりを目指し、みなさまの期待にお応えできるよう今後ますます努力を積み重ねてまいりたいと思います。



4年間を 振り返って できたこと できなかった こと！



浦 博善

吉備中学校にサッカー部ができました

「こども達に好きなス

ポーツをさせてやりたい」と言う保護者のみなさまとともに、署名運動や請願書の提出などを行いました。実現することができました。吉備中学校サッカー部は設立2年目で県大会出場の偉業を達成しました。

議会中継を気軽に見ることができるようになります

「議会傍聴は興味があっても時間がない」という意見をよく聞きました。議場の様子を各庁舎のロビーに設置するテレビモニターで放映することが予定され、工事を進めようとしています。またインターネットでも放映する予定です。議会傍聴が手軽になると思います。

国道424号の整備はこれから本番です。

金屋から海南方面へ通じる国道424号の整備は、平成21年度から公共

事業で整備することになりました。国の事業見直しが必要ですが、本当に必要な道路として、国に訴えていかなければなりません。

機構改革と意識改革はまだです。

元気な町づくりのためには、まず町長・議員・職員が積極的に取り組みなければなりません。活力ある有田川町に向け、住民のみなさまと共に歩んでいきたいと思っております。



未来ある 子ども達の ために!!



坂上 東洋士

旧3町が合併してから早いもので4年の歳月を迎えようとする現在、小生も26名（現在25名）の議会議員の一員としていただき感慨深いものがあります。やはり最初の頃には旧3町の縄張り意識とか、均衡ある町政の実現に向けて為政者である中山町長は大変苦慮され腐心をされたように思われます。私も一般質問で町民のみなさん方の想いや願いを機会あることに訴えてまいりましたが実現できなかったこと、できな

ったこといろいろありますが、悔いのない質問をしたつもりです。

今の世の中、親が子どもを虐待したり殺したりと憂慮に堪えない出来事が毎日のごとく新聞やテレビで報道されています。

私は徳川八代将軍吉宗公が時の学者、室鳩巣に命じて作らせた「六倫衍義大意」の中で記されている中身を大人達が今一度勉強し、未来ある子ども達の成長のために言葉として発信することが大切なことだと思っております。

それは、両親には孝行をなし、先輩や年上の人への言うことを良く聞き、敬い義理の人や友人とは心から仲良くし、子どもや家族を養うためには真面目に働き、嘘はつかず正直者に生き、悪いことはするなという六つの教えを実践することだと思っております。

少子高齢化の時代、孫や子どもにいつか世話にならなければならぬ時代が、小生にも遠くない時に訪れます。そのためにも親の背中に自信を持てるようにお互いに努力をして頑張ろうではありませんか。私も一生懸命頑張ります。

力強い まちづくりを めざして



黒部 重計

3町合併により吉備、金屋、清水の3町政の歴史は、平成18年1月1日、新たにスタートし、新生

「有田川町」へと託され、早4年が経過した。

これまで町民のみなさまからのあたたかいご支援、ご協力に対して厚くお礼申し上げます。

私は合併後のまちづくり構想について、「町が大きくなってきて、役場が遠くなっても、住民サービスの低下は許されない」均衡あるまちづくりは議員の責務であると信じています。しかし、なかなか国のいわゆる「地方の時代」はいつまでたってもやってこないことに腹立ちをおぼえる日々、これからも都市と地方の格差の是正、豊かな地域社会の建設に、懸命にとり組んでいきたいと思っております。

特に、この4年間では一般質問で財政運営の健全化に対する町の取り組み姿勢や行政改革の推進、過疎化や、少子高齢化に伴う農林業の低迷は

まことに深刻であり、地域に課せられた問題を一杯努力されるよう町当局に質してきました。幸いに念願の糸川から湯浅町山田と広川町岩瀬をつなぐ「林道糸川三本松峰線」が完成、また修理川字井若間のバイパスも竣工された。

第三保育所移転建築については、学童保育と併設して建設着工の運びとなり、町当局のご努力に感謝しています。今後も住民の声が町政に反映できるよう力いっぱい働き、ご支援をお願いいたします。



あつという
間の4年間!!



西 弘毅

今、年の始まりを迎えられたことに感謝をし、この慶びを有田川町のみならずと共感できることを幸福に思います。

私はこの4年間でいったいどんな議員活動ができたのだろう、と考えれば不思議な思いがします。本当に町民のみならずのご意見を町政に届けることができたのか不安ではありません。「不思議の意味」は、私も何回となく当局にいろいろな質問をし、答えをもらいましたが、何かしら達成感があ

りません。それは私の質問がわるいのか、当局がうまくはぐらかすのか、どちらか分かりたいが最後まで到達しない。つまり結果がでない。その中で、河床の浚渫の問題に至っては、防災の問題であり、私も同僚議員も何回となく質問をしましたが、中途半端な答えしかない。

放っておくと人災にもなりかねないので、これからこの問題に取り組んでいきたいと思っています。

合併の結果、旧3町間にはいろいろな問題もあります。幸い、痛みも共有し、本当に有田川町として何が必要なのか、必要でないのかをこれからも見定めていきたいと思っています。町政の見張り役は議員だけではありません。町民のみならずにも町長なりまた議員なりに、いろいろな問題

提起をしていただきたいと思います。



合併後
4年の足跡



中西 正門

有田川町が発足して4年間は、合併協議会の実施計画に従って、高速度路の4車線化、産並駅の特急停車実現、小・中学校の耐震補強工事の実施、教育関係に小・中学校空調施設も完成。また国道関係では、岩野河バ

イバス工事着工と市場バイパス、吉田バイパスも工事が目に映ってききました。公共下水道については、一部供用開始の運びとなりました。

森林事業でも清水木材加工センターの営業も順調な運びとなることを期待します。

観光面では施設や名所を広く町外の方にも楽しんでいただくように観光施設巡回バスの運行がはじまっています。

福祉関係では、金屋第3保育所の新築工事、学童保育の充実など、障害者の支援もできる限りの努力を各団体のボランティア活動の会員さんをはじめ、シルバー人材センターの会員のみならず方に感謝申し上げます。

他方では、日本が今後どのように進化していくのか、今後第2期目に入る有田川町の課題が山積していますが、町長をは

じめ、町会議員が4年間培われた実績と経験を十分に生かし、政権交代のバフォーマンスに迷わず、議会も町民の代弁者として当然政治活動に邁進しなければなりません。

町の発展を願う時、その基本は、家族の絆。人間としての思いやり。歴史・文化・伝統の継承や政治に対する、認識と関心を深め地域のために活躍される方々が、一人でも多く生まれてほしいと思います。

「厳しい時、苦しい時代こそ、人材が育つ」私はこの格言を信じて期待したい。

ありがとうございます。
ございました。



有田川町の 4年間を 振り返り 今思うこと



中山 進

謹んで新春のお慶びを申し上げます。これまで町民のみならず、ま方からの温かいご支援をいただきながら、議会議員として活動をさせていただきま

した。合併して名実ともに有田川町としての4年間が経過し、その間に行政改革大綱が策定されました。行政のスリム化や財政の健全化を図り、少しずつ結果が出てきているように思います。しかし民間企業と比較すると、まだまだ合理化が遅れており、

住民が求めている低負担、高サービスに向かって、これからも一歩ずつ進めていく必要があります。国の財政が厳しい状況

下で、全国の市町村も生き残りをかけて熾烈な戦いをしていきます。北海道の夕張市では職員の給料の大幅カットが行われ、和歌山県でも国の指針を上回る大幅な人員削減と市場化テストを行っています。このように地方自治体が競争原理の時代に突入した感があります。また交付税においても、年々削減が進む中で、頑張った自治体には厚く、そうでない自治体はその逆と言うように、自治体独自の創意工夫と企画力をもって対処していかなければなりません。合併して4年が経過し、ひとつの町としてまとまってきたように思います。本町のますますの発展と、住民のすべてのみなさま

が希望をもち暮らしている町づくりのために、今後一層の行政改革を進めていかなければなりません。みなさまからのご指導ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

有田川町の 4年を 振り返って



竹本 和泰

新年あけましておめでとうございます。

平成18年1月、旧3町が合併し新生有田川町が誕生して4年。私は、旧金屋町議10ヶ月を経て、新町初の選挙で有田川町

議会議員に送っていただきました。議会はもちろ

ん、町の行財政運営や事業の実施が適正に行われているかなどを、町民の立場に立ってチェックすると同時に、私は、旧3町による合併協定書を遵守した均衡ある発展が図られるのかに趣を置いてきた。

合併による住民サービスの低下を招かないかなど、夢のある有田川町を望み、地域や住民の声を町政に反映させるため、ほとんどの議会で行財政運営、少子高齢化対策、中間地域の活性化対策など、町の施策を質し、かつ提言を行ってきた。

員制度が予定され、一定の方向が示されている。

しかし、合併協議会で合意している建設事業10ヶ年計画については、現時点で旧3町でアンバランスな執行状況であり、残り6年間でいかに旧町の均衡ある事業実施ができるかが今後の課題である。

国の政権も交代し、今年はいろいろと変化の多い年になると思うが、若者が定着できる町、町民が安心して暮らせる地域づくりにと、有田川町が希望の持てる町となるよう町民のみなさんの声を聞きながら頑張りたい。



4年間を 振り返り 更なる発展 を願って



大岡 憲治

新年あけましておめでとうとございます。町民のみなさまには、ご健康で希望に満ちた平成22年の初春をお迎えの事と心からお慶び申し上げます。

さて平成18年1月に3町が合併し、有田川町が誕生してから早いもので4年の歳月が経過いたしました。その間にあつて地方を取り巻く環境は、少子高齢化や過疎化、福祉医療問題等が山積しており、財政面におきましても大変厳しい状況が続いております。

しかしながら、有田川町は各種団体等の合併も相まって、より3町の一体感が深まってきており、一歩一歩着実に進展してきております。今後におきましても、地域の特徴を活かした均衡ある発展を推し進めていく事が重要であると考えます。

さて私は健康上の理由によりまして、今期を以て議員を引退させて頂きます。町民のみなさま方には今日まで温かいご支援、ご指導を賜り大変お世話になりました。ありがとうございました。合併をして1期4年間という短い期間でございましたが、旧清水町時代を含めると、8期30年間良き先輩諸兄にも恵まれご指導を賜りながら、曲がりなりにも務めさせて頂くことができました。心から感謝申し上げます。

今後は一町民としてこよなく愛する有田川町発

展のため尽くして参りたいと思っておりますので、変わらぬご指導、ご鞭撻をお願いし、併せてみなさま方のご健康、ご多幸をお祈り申し上げ、退任のご挨拶とさせて頂きます。

町民の ための 町づくり



亀井 次男

平成18年1月1日有田川町が誕生し、先日には選挙管理委員会より町長と町議の4年任期の満了に伴う次期の同日選挙日が来る1月31日実施と発

表されました。満了を控え、ご支援ご鞭撻を賜りましたことに対し心より感謝を申し上げます。

町村合併は昭和と平成の合併が双璧とされています。昭和20年、戦後、「国破れて山河あり」の状況の中、国が戦費や復興費で大借金、物資貧困の中、昭和22年からの出産ラッシュ（現在、団塊の世代）が続き、また国の未来を子どもにたくす小・中学校の校区決定、建替（村有林の売却益で賄う）、合理的運営が昭和合併の目的であったようです。

平成大合併は、戦後、朝鮮特需から大阪万博の時代ごとに浮沈もあつたが昭和の末頃は、世界第2位の経済大国と世の中が自負し、外国の有名な建物、絵画等を何10億、何100億と国内外で買いあさり、田舎の山林まで投機対象になる異常な

中、平成9年頃に「バブルが弾けた」と、大手金融まで連鎖倒産が続発し、国も大借金になり県や町への支援ができなくなり、町役場も住民サービスの維持のため無駄を削り、企業の効率運営の実現が合併の目的。

合併協議会に私個人としても、議会に関することは総て従いました。

選挙は寒い2月。残任期間は認めない。町長と町議は同時に。議員削減は2回。しかし、元協議会の方が新たに役場建築や筆界未定に、道路要望に、驚嘆します。町内107区長さんや団体役員の方は、各々の厳しい課題にも、剛健で取り組み姿に尊敬の念であります。



4年間を
振り返って



森谷 信哉

3町が合併して早くも4年が経ち、みなさまから温かく支え応援していただき、議会議員として新しい町の町政にも参加させていただきありがとうございます。有田川町となり、今までご縁がなかった地域のみなさまとお話などさせていただく機会もあり、地域によつての悩みの違い、若い人には雇用環境の問題、お年寄りの方からは、一人暮らしの不安や限界集落となつていく中での地域が維持できるかなどの

不安や、特に清水の奥から出させていたいでいますので、奥地は行政から置いていかれるのではないかと不安やまた、せつかく新しい町になつて仲間となつたのだから、みんな仲良くやろう、もっとみんなで交流しようなど、みなさんから沢山のお言葉をいただきました。

また、藤並駅の改修や、今後の高速道路の4車線化も着々と整備され有田の中核として発展していく中で、まだまだ魅力ある町になるように、また、今後はもっと均衡ある発展が進めていけるように、今までいただいた地域のみなさまの声を参考にし、不平・不安のない社会に少しでも近づけられるように努力していきたいと思ひます。最後になりましたが、みなさま方のご健康ご多幸を祈念いたします。

全国町村議会議長会創立60周年記念
「特別表彰」

30年以上の長きにわたり議会議員として地域社会の発展及び住民福祉の向上に尽くされた功績が認められ、全

国町村議会議長会より全国町村議会議長会創立60周年記念「特別表彰」を受賞されました。



大岡 憲治



前勢 利夫



亀井 次男



楠部 重計



第3回有田川町観光写真コンテスト最優秀賞作品「エコが守る自然の美」

提供：有田川町観光協会 撮影者：岩崎州男氏

合併をして有田川町となり、動き始めた4年前には旧3町間のいろいろな問題が山積し、諸問題を積み残し、見切り発車をした感がありました。今、この4年間を振り返って見れば、本当に町民の方々のご意見を聞くことができたのか不安でなりません。私たち議員一同、議員の本質を見極

編集後記

め旧3町間に垣根のない有田川町として発展できるように、一生懸命取り組んでまいります。これから寒い時期になります。町民のみならずには新型インフルエンザが流行していますので体調には十分気をつけてお体をご自愛して頂きたいと願います。(西 弘義)

お問い合わせ
☎52121111
古信庁舎4階議会事務局まで

議会広報編集特別委員会
構成メンバー



- ◎地谷 應
- 西 弘 義
- 東 武 史
- 佐々木 裕 哲
- 浦 博 善
- 亀井 次 男
- 森谷 信 哉
- は委員長、○は副委員長、ほかは委員となります。